

高専通信

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY(KOSEN), TOMAKOMAI COLLEGE



VOL.166

オリエンテーション

60周年記念植樹

オープンキャンパス

高専協力会だより

高専体育大会

TOPICS

2024年10月発行

苫小牧工業高等専門学校

〒059-1275 苫小牧市字錦岡443 苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係
[URL] <https://www.tomakomai-ct.ac.jp> [MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

令和6年度 第1学年オリエンテーションを実施しました

学生主事補 高澤 幸治

4月18日（木）に、本校第二体育館において第1学年オリエンテーションを実施しました。

初めに、小林校長による開会あいさつの後、専門系教員による各専門系の紹介が行われました。各専門系で学ぶ事柄や卒業後の進路の解説、ユーモアを交えた教員の紹介等、学生にとって次年度の配属先を検討する一助になったものと思われます。

続いて、北海道警察サイバーセキュリティ対策本部より講師をお招きし、SNS等に関する講演会を実施しました。学生にとって身近なSNSを題材に、日常に潜むリスク等をわかりやすく講演していただきました。

午後からは、SCORA北海道による性に関する講演会を実施しました。動画による講演でしたが、デートDV等学生の身近で問題となっている内容について、わかりやすく説明いただきました。

また、タイ・カサセート大学学生派遣の説明や学生主体のピア・サポートの説明も行われ、新入生にとって様々な経験・出会いの場が紹介されました。



令和6年度の授業参観を4月26日（金）9：00～16：00の時間帯に実施いたしました。

授業参観には、計295名（令和5年度262名、令和4年度292名、令和3年度は未実施）の保護者のみなさまにご来校いただきました。

昨年度から来校者数が増加しており、より多くの皆様に授業参観にご参加いただけたかと思えます。今回も授業時間中にご自由に参観いただく形での開催といたしましたが、保護者のみなさまのご協力により無事実施することができました。この場をおかりしまして感謝申し上げます。

当日は各専門系での専門科目・実験・実習や数学・英語などの一般科目など各種の授業をご覧いただけたかと思えます。今年度で本科のカリキュラムが新しく変更されて3年目となり、現在の3年生までが新しいカリキュラムでの授業を受けております。新しいカリキュラムでは、特にAI・データサイエンス分野を充実させ、2・3年生は新規科目としてAI・データサイエンスの学習を行っております。また、半導体分野についても1～3年生の創造工学I～Ⅲにおいて内容を充実させ、さらに、北海道内4高専合同で開講している「北海道半導体みらい論」の1・2年生への開講なども行っているところです。

最後に、今後とも、苫小牧高専における教育・研究、学校・寮生活等へのご理解ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年度 授業 参観 実施報告

教務主事補
中村 嘉彦



都市・環境系

高専2年目、都市環境系としては初めての年です。これから実習や課題が多くなっていき、取り残されるかもしれないという不安で一杯でした。ですが先生方の自己紹介のとき、こんなにたくさんの優しい味方がいるんだと実感し安心することができました。

また自分の目標が入学時と今とは大きく変わり、これから専門の勉強が増えていく事にとっても不安を抱いていました。年齢を重ねるうちに後戻りができなくなってしまうからです。ですが専門をしっかり学ぶことで将来につながる、今のエネルギーで立ち向かうからこそ意味があることに気づきました。

これからも都市環境学生の一員として胸を張ってチャレンジしていきたいです。



2年2組
埴 結起乃

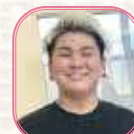
機械系

機械系のオリエンテーションは機械製図室で行われ、最初に機械系の先生方の紹介やこれから学んでいく専門科目の説明、進学先や就職先についての説明がありました。

その後にクラス内で自己紹介を行い、なぜ機械系を志望したのかなど、将来の夢について発表しました。理由は人それぞれで明確な目標がある人やなんとなく来た人もいました。

僕も明確な目標はなかったのでクラスメイトの話を聞いて安心しました。最後に機械系の先輩方に来ていただき、大変だったこと、これからの4年間で大事なことや努力したほうがいいことなど、今後に役立つことを教えていただきました。

これからの卒業までの4年間、立派な技術者を目指してクラスメイトとともに切磋琢磨し、最高の高専生活を送るように頑張っていきたいです。



2年1組
田中 涼太郎

応用化学・生物系

4月23日に行われたオリエンテーションの状況やこれからへの思いを、簡潔にまとめたいと思います。

オリエンテーションでは配布された資料を基に、系の説明や設備見学、先輩や教職員の方々の激励の言葉などがありました。系の説明では、応用化学・生物系特有のコース分岐や各学年の見通しを、段階的に教えていただきました。設備見学では、他系より多く精密な機材、実験室があるため、物質実験棟を含む広範囲の説明を、スムーズかつ明白にいただきました。激励の言葉には、厳しくも温かい言葉が数多くありました。

私たちの学級は、女子学生が第2学年で一番多く、理系科目が苦手な学生も多い稀な学級ですが、オリエンテーションにより、各々が見通しのある、いわば先見の明のある学級となることを願い、日々精進していきたいと思います。



2年3組
藤井 汰牙

第2学年 オリエンテーション

電気電子系

私達は4月23日に行われた電気電子系の第2学年オリエンテーションに参加しました。

オリエンテーションでは授業で実習・研究をする実験室を6、7人のグループごとに分かれて見学し、各実験室の担当の先生方からどのような学習をするかを伺いました。

後には専攻科生との交流会があり、学習方法やレポートの書き方のコツ、進路や就職の事についても詳しく説明してもらい、とても貴重な時間を過ごす事ができました。

系に配属されて、数ヶ月の時が経ち、授業やクラスの雰囲気にも慣れてきました。まだ知らない事も多いですが、クラスメイトと共に協力し合い、4年間楽しく過ごせるよう、日々努力します。



2年4組
遠藤 蒼太

情報科学・工学系

こんにちは。2年5組の委員長を務めている、佐藤果夏です。

今年度の初めに行われたオリエンテーションでは、情報系のカリキュラムや就職および進学状況について話を伺うことができました。4年の時にフロンティアに進んだ場合、専門科目の中で受けられない科目があることにとても驚きました。

オリエンテーションの最後には、5年の先輩が情報系の面白い話をしてくれました。3年のプログラミングで学ぶポイントは学生にとって大きな壁らしいので、躓かないように頑張ります。

まだ情報系に進んで日が浅いので、どの道に進もうか迷っているのですが、履修できる選択科目や、卒業研究のテーマの例などを今回のオリエンテーションで知り、自分が将来何をしたいのかが前よりもわかった気がします。この1年間でじっくり考えて、後悔しない道を選択したいです。



2年5組
佐藤 果夏

寮祭を振り返って

4年1組 緇門唯奈

今年度の寮祭は昨年度と違い、5月中旬に行いました。具体的な内容としては楓和寮ではスポーツ大会、レク、抽選会を行いました。

スポーツ大会ではバレーボールを行い、仲間と協力し合うことでチームワークの大切さを再確認しました。学年バラバラのチームで行うことで、それぞれの学年で楽しむだけでなく、学科学年の垣根を越えて親睦を深めることができました。一方、レクのババ抜きでは違った楽しみがありました。定番のゲームを通じて、普段あまり話す機会がない寮生とも交流でき、新たな友好関係が築けたと思います。また、抽選会ではデパコスやお菓子など貰ってうれしい景品を企画委員の後輩と買い出しに行き、たくさん悩んで景品を決めました。女子寮生が盛り上がってくれて本当に嬉しかったです。この寮祭を楽しませてくれた企画委員には感謝しかありません。たくさん話し合いをしてくれたおかげで女子寮生全員が終始笑顔が絶えず楽しめるものになったと思います。

最後に企画委員長として至らなかった部分多々あったと思いますが、寮務の先生方、寮生の協力のおかげで何事もなく寮祭を終えることができました。次年度以降も女子寮生が楽しめるものにしていきたいです。



春季体育大会を終えて

学生主事補 多田光宏

令和6年6月18日(火)に春季体育大会が開催されました。天候に恵まれ、プログラム通りに競技を行うことができ、各クラスが優勝を目指す非常に盛り上がった大会となりました。青空のもと、全クラスがラジオ体操をできるのは、4年ぶり、今の5年生にとっても初めての体験でした。どの陸上競技でも球技でも手に汗を握る熱戦が展開されましたが、一方で、駅伝においては、気温が高いこともあってか体調不良者が出てしまい、今後の競技方法についても検討課題が残る大会でもありました。ただ、多くの学生にとって、充実した思い出深い一日になったであろうことは間違いなくと思います。

最後になりますが、今大会を運営するにあたり協力してくださった体育委員の皆さん、審判の手伝いをしてくださった各クラブの部員の皆さん、競技に参加してくださった教職員の皆さん、競技に様々な形で協力してくださった教職員の皆さんに心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後の体育大会についてもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



高専体育大会

第60回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会の成績（個人戦は入賞者のみ掲載）

テニス		7月6日～7日開催 函館市千代台公園庭球場
男子	団体戦……………	準優勝
	個人戦シングルス 七 島 峻 (5-2)……………	第1位
	個人戦ダブルス 七島 峻(5-2)・辻 裕輝(4-3) ……	第1位
女子	個人戦シングルス 佐 藤 心 結 (1-1)……………	第3位
	個人戦ダブルス 佐藤心結(1-1)・竹内緋月(1-1) ……	第3位
サッカー		7月6日～7日開催 旭川市東光スポーツ公園球技場
男 子	……………	優 勝
剣 道		7月6日開催 釧路工業高等専門学校第1体育館
男 子	団体戦……………	準優勝
	個 人 戦 小 野 寺 溪 人 (5-2)……………	第1位
	坂 友 喜 (1-4)……………	第2位
ハンドボール		7月6日開催 苫小牧市総合体育館
男 子	……………	準優勝
卓 球		7月6日～7日開催 苫小牧工業高等専門学校第2体育館
男 子	団体戦……………	優 勝
	個人戦シングルス 藤 谷 光 希 (1-1)……………	第1位
	清 川 幹 太 (2-4)……………	第2位
	武 内 哉 太 (4-4)……………	第3位
	個人戦ダブルス 武内哉太(4-4)・西島 快(4-3) ……	第1位
	長江大夢(3-2)・清川幹太(2-4) ……	第2位
	奥野椋太(1-2)・藤谷光希(1-1) ……	第3位
女子	団体戦……………	優 勝
	個人戦シングルス 猪 股 万 夢 (3-4)……………	第1位
	酒 井 百 恵 (1-4)……………	第2位
	個人戦ダブルス 猪股万夢(3-4)・酒井百恵(1-4) ……	第1位
バレーボール		7月12日～13日開催 ウインドヒルくしろスーパーアリーナ
男子	……………	第3位
女子	……………	第2位

バドミントン		7月12日～13日開催 函館アリーナ
男子	団体戦……………	優 勝
	個人戦シングルス 今 井 瀬 那 (3-1)……………	第1位
	高 野 勇 斗 (3-2)……………	第2位
	個人戦ダブルス 本間久聖(5-1)・今井瀬那(3-1) ……	第1位
	千田涼太(5-1)・丹羽 隼(5-3) ……	第2位
	丸山大翔(4-1)・三浦真之介(4-3) ……	第3位
女子	団体戦……………	優 勝
	個人戦シングルス 寅 尾 美 羽 (5-2)……………	第2位
	個人戦ダブルス 寅尾美羽(5-2)・仁平りよ(3-1) ……	第1位
	松本つづら(4-2)・堀 悠菜(3-3) ……	第3位
ソフトテニス		7月13日～14日開催 釧路市民テニスコート
男 子	団体戦……………	準優勝
	個人戦ダブルス 久保琥珀(3-4)・江良楓真(3-1) ……	第1位
女 子	個人戦シングルス 佐 藤 美 和 (2-3)……………	第3位
	個人戦ダブルス 今井 泉(3-3)・本間陽菜(5-3) ……	第1位
	高橋乃愛(3-3)・中野古都(3-5) ……	第3位
バスケットボール		7月13日～14日開催 苫小牧総合体育館
男 子	……………	優 勝
アーチェリー		7月14日開催 旭川市花咲スポーツ公園洋弓場
男子	団体戦……………	優 勝
	個 人 戦 瀬 尾 光 生 (4-1)……………	第1位
	佐 藤 佑 樹 (5-1)……………	第3位
女子	個 人 戦 西 槇 ゆ い (1-1)……………	第1位
	秋 田 涼 花 (1-4)……………	第2位
	今 野 杏 奈 (1-1)……………	第3位
野 球		7月20日～21日開催 ウインドヒルひがし北海道スタジアム
男子	……………	優 勝



第59回全国高等専門学校体育大会の結果について

全国高等専門学校体育大会は、高専教育の一環として、広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成するとともに高専相互の親睦を図ることを目的として毎年開催しています。各地区の高専体育大会を勝ち抜いてきた高専学生が集い、14ある競技種目を競う大会です。

本校からは、テニス、バスケットボール、ソフトテニス、野球、バドミントン、水泳、卓球、陸上競技、剣道、ハンドボール、サッカーの11種目に出場しました。成績の詳細は次のとおりです

テニス 8月21日～23日開催 苫小牧市緑ヶ丘公園庭球場(苫小牧市)

男子	団体戦	一回戦敗退
	個人戦シングルス	一回戦敗退
	個人戦ダブルス	一回戦敗退
女子	個人戦シングルス	一回戦敗退
	個人戦ダブルス	一回戦敗退

バスケットボール 8月23日～25日開催 湿原の風アリーナ釧路(釧路市)

男子	予選敗退
-----------	------

ソフトテニス 8月27日～28日開催 花咲テニスコート(旭川市)

男子	団体戦	第3位
	個人戦ダブルス	一回戦敗退
女子	個人戦ダブルス	二回戦敗退

野球 8月30日～9月2日開催 とましんスタジアム苫小牧市営清水野球場(苫小牧市)

男子	二回戦敗退
-----------	-------

バドミントン 8月30日～9月1日開催 苫小牧市総合体育館(苫小牧市)

男子	団体戦	一回戦敗退
	個人戦シングルス	二回戦敗退
	個人戦ダブルス	二回戦敗退
女子	団体戦	一回戦敗退
	個人戦シングルス	一回戦敗退
	個人戦ダブルス	一回戦敗退

卓球 8月31日～9月1日開催 湿原の風アリーナ釧路(釧路市)

男子	団体戦	予選敗退
	個人戦シングルス	予選敗退
	個人戦ダブルス	予選敗退
女子	団体戦	予選敗退
	個人戦シングルス	予選敗退
	個人戦ダブルス	予選敗退

水泳 8月31日～9月1日開催 北海道立野幌総合運動公園プール(江別市)

男子	4×100mフリーリレー	第6位
	4×100mメドレーリレー	予選敗退
	50m自由形 田中慎介(4-2)	第7位
	100m自由形	予選敗退
	100m平泳ぎ	予選敗退
	200m自由形 竹田優斗(4-1)	第3位
	200m平泳ぎ 高橋 昊(1-4)	第7位
	400m自由形 竹田優斗(4-1)	第8位
	800m自由形 長沼快斗(2-3)	第6位

陸上競技 9月7日～8日開催 釧路市民陸上競技場(釧路市)

女子	800m	予選敗退
-----------	------	------

剣道 9月7日～8日開催 旭川市総合体育館(旭川市)

男子	団体戦	予選敗退
	個人戦	一回戦敗退
女子	個人戦	一回戦敗退

ハンドボール 9月7日～8日開催 函館アリーナ(函館市)

男子	予選敗退
-----------	------

サッカー 9月13日～18日開催 函館フットボールパーク(函館市)

男子	準優勝
-----------	-----



本校専攻科生が苫小牧警察署より感謝状を授与されました

特殊詐欺被害を未然に防いだとして、創造工学専攻（都市・環境系）1年生の齊藤史恩さんが苫小牧警察署長から感謝状を贈呈されました。

本年5月、高齢のご夫婦が高額の振込をしようとコンビニエンスストアに来店し、居合わせた齊藤君はすぐに詐欺を疑い同署に通報、駆け付けた警察署員が夫婦を説得し、被害を防ぎました。ご夫婦を引き留め、店員や警察と連携して特殊詐欺被害を未然に防止したことに対し感謝状が贈呈されました。



本校学生がパワーアカデミーの第6回電気工学教材企画コンテストで優秀賞を受賞しました

パワーアカデミーが開催した第6回電気工学教材企画コンテストにおいて、本校専攻科1年の岡本昂大さん、堀有羽さん、矢野巧実さん、赤塚元軌准教授、大澤拓門助教が「再エネとエネルギー貯蔵から学ぶSDGs時代の電力システム講座」の作品タイトルで応募し、優秀賞を受賞しました。

3月14日(木)に授賞式が行われ、「電力の貯蔵をキャパシタやフライホイールを用いて実感できるようにする工夫は独自性が高いです」などの高い評価を受けました。

本コンテストは、高等専門学校本科生、高等専門学校専攻科生、大学生、大学院生が自らの視点・着眼点で、電気工学に関連したテーマに沿った中学生向けの教材企画を考え、その企画作成・成果活用検討を通して、「電気工学の魅力」や「電気工学を学ぶ楽しさ」を習得することを目的としており、今回は「SDGs×電気」をテーマとして実施されました。

《コンテスト結果》

<https://www.power-academy.jp/info/2024/003795.html>



「北海道半導体みらい論」開講式・初回授業を行いました

令和6年6月24日(月)にオンラインで道内4高専を結び、「北海道半導体みらい論」の開講式・初回授業を行いました。

この授業は、幅広い視点から半導体とその産業への理解を深める目的で開講された科目で、本校では1～2年生の選択科目として開講しています。道内4高専の各専門分野（機械系、電気電子系、情報系、化学系、社会基盤系）の教員に加え、産業界や経済産業省北海道経済産業局の方も講師に迎えたオムニバス形式の授業となっており、このような形式で授業を行うのは全国の高専でも初めての試みとなります。

開講式では、北海道地区4高専半導体人材育成連携推進室室長の簗耕司旭川高専副校長が開講の挨拶を行い、その後の初回授業では、旭川高専松原英一准教授が「半導体と社会」をテーマに講義を行いました。

道内4高専での総履修者数は355名、苫小牧高専では38名が履修中で、全15回の授業はオンデマンド形式で行われます。



書道部が「人権啓発パネル展」で書道パフォーマンスを披露しました

6月23日(日)、イオンモール苫小牧で行われた「人権啓発パネル展」（苫小牧人権擁護委員会主催、苫小牧市共催）で、本校書道部が書道パフォーマンスを行いました。

今日、マイノリティに対する差別や、ハラスメント、SNSでの誹謗中傷など様々な人権をめぐる問題がありますが、「輪」「百人百様」の2作品を通してひとりひとりの人権の尊重について考える機会に繋がるよう、願いを込めて創作にあたりました。当日は6名の小学生にもお手伝いいただき、皆で一つの作品を完成！

ご来場いただいた大勢のみなさま、誠にありがとうございました。



本校専攻科生がセルロース学会第31回大会にて優秀ポスター賞を受賞しました

2024年7月11日（木）～12日（金）に熊本市で開催されたセルロース学会第31回年次大会において、専攻科創造工学専攻（応用化学・生物系）2年の井筒歩夢さん（指導教員：甲野裕之教授）が、特別研究の成果発表を行い、優秀ポスター賞を受賞しました。

井筒さんはカニやエビの殻の主成分であるキチンを原料に、体温付近で溶液状態からゲル状態に移転する新しいゲル材料の開発を行いました。その転移現象の解明と生体材料への応用について、今回発表しました。井筒さんの優れた研究成果および発表能力が高く評価され、114件の演題から5件選出され、今回の受賞となりました。

※本研究成果は、高専が推進するGEAR5.0防災・減災・防疫（ライフサイエンス拠点）の一環として行われております。

研究題目：キチンオリゴ糖の可逆的ゲル化現象の解明とその用途開発

発表者：井筒歩夢・長岡佑哉・服部武史（福島大）・碓氷泰市（静岡大）・磯野拓也（北海道大）・尾形慎（福島大）・甲野裕之



P U S 2024



電気電子系



機械系

オープンキャンパス 開催報告

教務主事補
佐々木幸司



都市・環境系



情報科学・工学系



応用化学・生物系

OPEN CAMP

苫小牧高専では、中学生、保護者、中学校関係者の皆様に苫小牧高専の教育活動を知っていただく機会として、毎年オープンキャンパスを実施しております。今年は8月3日（土）・4日（日）に開催しました。当日は市内・市外から多くの中学生と保護者の皆様にご参加いただき、来場者数は中学生383名、保護者等465名の合計848名でした。昨年度に比べ約100名も多くの方にご参加いただきました。中学生と保護者に、本校と本校のオープンキャンパスが広く認知されてきている、と感じました。

両日ともに、各専門系による体験コーナーへ参加される方や、実験室とその設備等を見学する大勢の方々でにぎわいました。様々な展示以外にも、5年生や専攻科生の在校生による、実際の授業・実験・高専での実生活についての雑談に、中学生とその保護者の方々は興味・関心を持っていただけたようでした。また高専の受験について、自身の経験を交えた話なども貴重であった、と保護者から感想がありました。

これ以外にも学校概要説明、寮の見学、高専入試の問題解説も実施しました。学校概要説明では、本校の教育について、内容だけでなく教育環境についても理解を深めていただく機会を提供することができたかと思います。

オープンキャンパス実施から一週間程度、参加者に対してアンケート（アンケート回答数216）を行っており、ほぼ100%の参加者が各専門系（機械、都市・環境、応用化学・生物、電気電子、情報科学・工学）の体験コーナー・実験コーナー・展示コーナーに対して「とても良かった」・「良かった」との回答でした。また本校を知るうえで参考になったとの回答もほぼ100%でした。このような数字から、各専門系の教育内容に対する理解を深めていただく機会を提供できたのかと思います。

「苫小牧高専に進学したい（させたい）と思いますか？」との質問には、約7割の方から「進学したい」との回答をいただき、残りの3割の方が「まだわからない」と回答されています。全ての方に進学したいと考えていただけるような魅力的な学校づくりに励みたいと思います。

最後に、オープンキャンパスの開催には、大変多くの教職員・学生の皆様にご協力いただきました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。



タイカセサート大学 低学年派遣研修座談会



令和6年8月18日（日）～25日（日）の8日間、学術交流協定校であるタイ カセサート大学での研修が行われました。その参加者24名のうち、有志6名で座談会を行いました。 引率教員：鈴木修平 准教授、時田紗緒里 准教授 聞き手：上場一慶 助教

1年1組：榊原 遼 1年3組：三好悠介 1年3組：小木瑞貴 1年4組：福井由太 1年5組：鍋嶋謙太 2年1組：安藤梨琳

今回のタイカセサート大学の低学年派遣研修に参加しようと思ったきっかけは何でしょうか？

安藤：今回の研修に参加することで、今よりも視野を広げて、今の自分にはない考え方や考え方を身に付けたいと思って参加しました。

小木：去年国内線の飛行機に乗った時に、隣の方が外国人でした。席に座るためにその人によけられてもらわないといけない、それを日本語でシスチャーでしかできなかったことがきっかけです。それで、もう少し英語を話せたらなって思っ、英語の力を高めるために今回の研修に参加しました。

福井：もともとタイが好きで、タイの異文化に対する寛容さについて、日本との違いを知りたいと思って参加しました。

三好：入学する前から、高専には海外研修制度があることを知っていて、もともと海外には興味があつたことがきっかけです。若いうちに海外に一度行ってみたい方いいという話をよく聞いていたこともあり、すぐ行きたくなって参加しました。

鍋嶋：今、父親の会社の同期の人がタイの方に出張で行っていることもあり、それでタイはどんなところなのか興味があつたこと、海外に出たことがなく、日本国内しか知らないの、国内だけじゃなくと視野が狭いかなと思っていて、いろいろな考え方と身をにつけるために海外に行っておいた方がいいだろうと思っていたので、参加しました。

榊原：もともと、すぐい英語が苦手だったので、ただ書いて勉強するとかじゃなく、普通に日常的に英語に触れてみたいと思って、今回の研修に参加しました。

研修を振り返って印象に残ったことは？

安藤：カセサート大学で受けた数学と物理の授業が印象に残っています。英語での授業だったんですけど、知っている単語もいくつか聞き取ることができたので、楽しい時間を過ごすことができたと思います。

上場：数学と物理ってどんなことを勉強したんですか？

安藤：物理は水平投射みたいな分野と数学は微分。いまちょっと授業でやっていた範囲をやりました。

鈴木：タイの学生なんか、割と日常的に英語でコミュニケーションとれる人たちが多かったですね。

小木：タイのカセサート大学の学食のところに屋台があつて、種類がとて多かったことに驚きました。日本の高専とかの学食とか、例えば膳所会館とか、そういう建物の中にひとつの店があるって感じだと思っ、たんですけど、タイの大学だと屋台とかが大量にあつて、たくさんのお店があつて、しかも人も結構並んで、そういうところに驚きました。

鈴木：特に好きなのは何でしたか？

小木：フードコートでチャートをよく好んで食ました。

福井：今回の研修で特に印象に残ったことは、タイ人のやさしさです。日本とはだいぶ違っていました。質問とか聞きたいこととか、知りたいこととか、聞いても知らない時は、ただ知らないっていうだけじゃなくて、少し貢献してくれるような事をしてくれたり、日本とは何か少し違つて思ったことが、印象に残っています。

鈴木：留学生というか、私たち日本人に対しても、最初から結構進んで助けてくれるというか、そういうなんというか寛容さに対する心算が、そこにはあります。

三好：特に印象に残ったのは、カセサート大学内のタイのコミュニケーションの授業で、やっぱり英語でコミュニケーションをとることの国際的な重要さも理解できました。タイの人は、最初から距離を取って関わるのではなく、日本のアニメとか、日本にいたことのあるサッカー選手とか、共通の話題を出してくれて、すごく和んだので、とても印象に残っています。

鍋嶋：タイのカセサート大学は、自分が想像していたよりも、すごく広くて、学園、大学というよりも、学園都市という言葉がかなり似合ふと思いました。学食とかだけでなく、スターバックスみたいな一般的な店とかにあるような店もあつたりして、一つの大きな街のようだったことが、かなり印象に残っています。

神原：今回の研修で印象に残ったことは、カセサート大学の施設が全般的に本当すごかった。いい機械がとてさんあって、すごく進歩している都市大学なんだなと思っていました。

鈴木：そうですね。都市工学とか航空工学とか、あとロボット工学の研究室とか見て、ちうと高専と同じ設備だったところもありましたが、その規模の大きさに結構びっくりしましたね。

研修に参加して得たものや、何かちよと変わったこと等気づきみたいなことはありましたか？

安藤：私は研修に行く前よりも、もっと自主的に行動する力っていうのを得ることができたと思っていて、自分からアクションを起こさないと何もできないというか、何も始められない環境に置かれていたの、大変なことの方が正直多かったんですけど、でもそこでちゃんと成長できて良かったなと思ってます。

鈴木：安藤さんはたしか最終日、あえてタイで日本食レストランに挑戦したそうですね。寿司レストランで、日本との違いを結構楽しんでいたんですね。

小木：英語が上達したのと、積極的に行動するっていうか、屋台とか市場とか、あとはショッピングセンターとかに積極的に行動するようになったんじゃないかとも思います。

福井：今回の研修で得たものは、今まで自分に関わってきた人への感謝の気持ちです。今回の研修で、先生と学生だけで一緒に生活・行動して、いつも一緒に暮らしている人がある状況とは、違つたことが多くて、自分でも動揺しました。でも、その中からこそ、今まで自分に関わってきた人は、自分のことも考えて、僕自身のことまで考えてくれていて、なんかない感謝の気持ちを覚えました。

三好：最初から否定しちゃういけないなと思っていました。タイに行く前までは、英語もままならないような状況で、ちゃんと意思疎通できるのかなと思つたんですけど、実際に行つてみると、タイの方も寄り添ってくれて、身振り手振りで、何とかコミュニケーションが取れました。やっぱり最初から否定せずに、まずはやってみる

みるのが重要だなと感じました。

鍋嶋：三好君と少し似てるんですけど、タイに行く前は、英語のコミュニケーションについては、結構自分の中ではハードルが高いものでした。でも、今回タイに行つて、今まで勉強してきたような感じで、文法とか、自分のイメージ通りで、現地の方々と話ができました。思っていたよりも、自分の中で英会話のハードルが下がつて、より一層英語を勉強したいと思いました。それと、今まで英語が話せなくても、三好くんも勇気を出して話しかけていくというところが結構大事だと思いました。

神原：得たものとしては、書くだけじゃなくて、ちゃんと話してみようという意識が、英語のコミュニケーションを体験できたことです。その他に成功失敗にしろ、いろいろなチャレンジ精神を学ぶことができた。タイの方との異文化コミュニケーションは、タイの人とのコミュニケーションで、英語が全然通じない時もありましたが、それでもいい体験になったので、成功失敗にしろ、チャレンジできた方がいいなと思いました。

いまだから言える失敗談
安藤：タイに持つて行く荷物の準備を、もう少しきちんとやっておくべきだなと思いました。ドライヤーとか変圧器が使用できなかった、困ってしまったので、特に電気製品とか、そういう類の荷物はしっかりと確認しておくべきだなと思いました。

小木：帰国した後に気づきましたが、首の後ろの皮膚が乾燥肌っぽい症状になっていました。日差しの強さと、湿度が低かつたので、日焼け止めと保湿剤を持ていくべきだったなと思ってます。

福井：個人的に失敗だと思ったことは、タイに持つていく服装です。暑いという印象があつたので、短パン半袖を多く持つて行ったんですけど、室内は少し寒いぐらいでした。短パンをはいて行動していると、少し寒さを感じたときもあったので、もう少し長スボンや、暖かくなる服装を持つて行った方がいいなと思いました。

鈴木：そうですね。大学の授業とか見学に行きましたが、冷房がキンキンに効いていましたね。ちうと長袖とか羽織るものが必要かもしれないですね。

三好：僕の失敗は、タイの研修の中間ぐらいの日程の時に、部屋の冷房の温度を下げて、外に出ると、すごい暑かつたので、その寒暖差でやられてしまったんです。部屋でもちゃんと長袖着たりとか、温度をもっと上げたりして、対策を取るべきだったなと思いました。

鍋嶋：大学の近くにあるスーパーとかに買い物行つたりしてたんですけど、その店員さんが、大学の近くだから、英語もちゃんと通じるかなと考えていたら、英語が全然通じなくて、タイ語だけだったので、もう少し現地の言葉を学んでいった方が良かったかなと思いました。それと、三好君と同じで体調を崩しちゃったので、体調管理も大事だなと思いました。

神原：この研修の失敗は、やっぱり辛いもの食過ぎで、一回お腹壊しちゃったことですね。辛いものが好きなんですけど、やっぱりやり過ぎは何事もよくないなと思っていました。

鈴木：何かとめを刺した食べ物がありましたか？
榊原：タイのカップラーメンなんですけど、本当に辛かったです。日本のもとは比べ物にならないくらい辛くて、ちよとあれで、どめ刺されちゃいました。

これから研修に参加する学生にアドバイスをするとしたら、？
安藤：研修は楽しいこととか、面白いことが多いんですけど、それと同時に日本とは文化が異なる部分が多かつたので、言葉が通じなかつたり、大変なことも多かつたです。でも、それを乗り越えたら、達成感が得られます。自分自身の成長につながつたりする



ので、頑張っではいなくと思います。

鈴木…観光旅行ではないので、終わった後達成感がありますよね。自分の力でここに行けたんだとか。すごいです。

小木…この研修に参加して、英語が身に付いたのと、何となくですが講義の内容とか、BTS（首都バンコクを走る電車「通称：スカイトレイン」）の運営会社の説明とか、あとカセサート大学の設備とかについてわかったので、達成感もありました。この研修で、英語力とタイ語の方も多少は上達すると思うので、とりあえず参加してみたいと思います。

鈴木…見学先は、全部英語で説明でしたよね。タイ語訳りだっけと、みんな一生懸命理解しようとして、大事なところは理解してたよね。すごいなと思います。

福井…アドバイスしたいことは、やり過ぎはよくないんですけど、いろんなことにチャレンジしてほしいということです。町の景色とかも違うし、気温とかも違うし、文化も違うので、受ける刺激が違います。できればいろんな事に挑戦して、日本では体験できないような事を少しでも体験して来てほしいなと思います。

鈴木…自由時間は、学生だけでスカイトレインのついで、確か市街地まで行ったと聞いたので、その行動力はすごいなと思います。

三好…日本に帰る際のお土産として、タイ米を買っていたんですけど、それが税関ではダメだったらしく、取られてしまい、悲しい気持ちになってしまいました。全部のことに共通すると思うんですけど、下準備とか確認はした方がいいなと思います。

鈴木…そうですね、生米とか持ち込みダメですもんね。

鍋嶋…研修と最初聞いて、ちよと堅苦しく聞えるかもいれませんが、最初に研修って聞いていたイメージよりは、実際そんな固くないです。いろんなことを楽しく学べたりします。若いうち

から海外に行くという、かなり貴重な経験にもなるし、行けるなら行ってみたい方が多いかなと思います。ただ、親戚とかにお菓子配る時には、自分の想像してる2倍ぐらい買つとかないとならないので、気を付けてください。

（一同笑）

鈴木…勉強というよりは、調理実習とか、タイのボクシング実習とかもあって、そんなに堅苦しくなく、楽しんでもらえるものがあったよね。

神原…海外怖くて、絶対いけないと思ったんですけど、いざ行ってみたら、やっぱり楽しくて、最初すごい怖いんですけど、いい体験もできて楽しいので、ぜひ行ってみたいと思います。

今回の経験を今後どのように活かしていきたいですか？

安藤…この研修で得たもの、ときに言ったんですけど、自主性を得ることができたと思ったので、これからの授業内でのグループワークとかに活かしたいです。実習等で自主性を発揮して話し合いとか行動とかをスムーズにできるようにしたいなと思いました。

小木…今回の研修で、英語を使ったコミュニケーション力などを得たので、日本でもその英語を使って、外国の人たちとコミュニケーションを取れるようにしたいなと思っています。

福井…今回の研修は、普通の高校ではあまりないような、保護者なしで学生だけで海外に行くという機会なので、そういう経験をしたいという自信を持って、今後いろんなことにまたチャレンジしていきたいなと思います。

三好…タイは、第一言語が英語じゃないのに、やはり英語が必要だと感じました。第一言語じゃないのに、あそこまで必要性があることは、第一言語の国はもう必要と必要性があると思いい改めて英語の大切さを実感できたので、もっと英語に力を注ぎたいと思っています。

鍋嶋…研修で得たもの、ときに言ったんですけど、英語に対してのハードルが少し下がったので、意欲的にもっと英語を勉強して行きたいなと思いました。これから学年が上がるにつれて海外研修もいろんなところに行けるようになるので、積極的に参加していきたいなと思っています。

神原…今回の研修で、たくさん英語喋ったりして、英語は必要だと思ったので、これからもっと頑張りたいという意欲と、最初怖かったんですけど、いろんなことにチャレンジして楽しかったことで成功失敗にとらわれず、たくさんチャレンジしていこうと思いました。

鈴木…みんないい経験になったみたいですね。

PART1 番外編

特に美味しかったものを一人ずつ教えてください。

安藤…カセサート大学の食堂にあった、シーフードカレーが一番美味しかったです。

小木…カセサート大学内にあった、春雨の麺の辛いのが、美味しかったです。

福井…カセサート大学の食堂のロケットという・・・なんていうかな？クレープみたいな生地を揚げ焼きにしたものに、チョコとか練乳をのせて食べて食べる甘い食べ物が好きです。

鈴木…みんなおかわりしてましたね。

（一同笑）

三好…ロティが一番美味しくて、日本でも食べたいです。1000パーツとかで、しかもすごい美味しくて、まあ太りはそうな感じだったんですけど。

（一同笑）

鍋嶋…かなり悩ましいんですけど、個人的にはカオマンガイがすごく美味しかったですね。日本とは違ってタイ米だったのと、ちよとご飯にも鳥の味がでて、日本じゃあんまり食べられないものだったので、美味しかったです。

神原…僕も結構そのチキンライスみたいのが好きでした。それにめちゃくちゃ辛いのをたっぷりかけて食べるんです。めっちゃ好きです。

授業時間外で印象に残ったことは？ おすすめスポットは？

安藤…私はちよと地味なんですけど、コンランドライーに行つて、服を洗濯したりしたんですけど、表示されている文字が英語とかタイ語が多くて、洗濯するのに結構苦労したなと思っています。

鈴木…そうですね、タイ語表示が多いですね。せめて英語で書いてくれたらいいですね。

（一同うなずく）

小木…トップスマーケットでパンなどを買ったんですけど、タイのパンでも普通の日本のベーカリーとかで食べるようなパンの味がして安心しました。

福井…僕は食べた果物があつて、市場に行きました。おすすめの市場が、カセサート大学に近いアモンパン市場というところ、でいろいろ雑貨とかも売って、食べ物とか果物とかも売って、すごいおすすめです。

三好…研修が終わった後、ちよと散歩してたんですが、その時駄菓子屋みたいなお店があつて、そこで飲み物を買ったんですけど、店員さんがすごく優しく、良くしてくれて、あそこはお気に入りの場所ですね。大学から歩いていけるところだから、多分近いところにあるので、ぜひ探してみたいです。

鍋嶋…トップスマーケットに入ってるMKレストランという、しゃぶしゃぶ屋さんにいったんですけど、日本の九州の方にもあるんですよね。日本のお店には何回か行って、タイはどんな感じなのかと思って行たんんですけど、日本と変わらず美味しかったです。結構お手頃な価格で食べられたので、おすすめです。3人で行って、1,000バーツしかかかりません。

神原…どこか忘れたんですけど、本屋を見つけて入ったんですけど、日本にも売られている漫画がたくさんあつて、英語版のタイ語版のもあったんですけど、そこをちよと読んでみたら、やっぱり面白かったんで、また行きたいです。

日本に帰って最初に食べたものを覚えていたら教えてください。

安藤…私は帰ってお寿司を食べました。

（一同あー）

小木…私は帰って大根の味噌汁と、うどんか白米を食べたような気がします。

福井…僕は帰ってきてから、天ぷらを食べました。

三好…帰ってきてから食べたのは、焼き鮭と米とみそ汁です。

鍋嶋…詳しく覚えてないんですけど、たしか鯖の味噌煮を食べた気がします。

神原…帰って一番最初にカツ丼を食べたんですよ。本当、美味しかったです。日本米が懐かしかった。

時田…私はご飯と味噌汁ですね。すぐ味噌汁作って食べました。鈴木…僕もそうですね。その後、札幌駅に移動したんですけど、駅構内の寿司屋で食べましたね。

※1パーツは日本円で4〜5円程度

番外編 PART2

《先生方から感想》

鈴木：全般的にあまり手がからなかったですね。

時田：そうなんです。大学の方から提供されているプログラムがすごく充実していたので、教員は、それに一緒に参加したり、ついて行って楽しむ様子を見てるみたいな感じでした。

鈴木：異国で、どうしたらいいかって困ってる学生の姿があまりなくて、頼もしい感じでした。今日ここ行ってきた！とか、みんな自分でどんどん開拓してくださるんですね。そういう報告を受けて、自分たちなりに楽しんで、いい経験できたんじゃないかなって思ってます。帰る前になんか塩鮭とご飯、普通の和食を食べたいとか言っている子いましたよね。なんか日本のシンプルな味の方が懐かしくなってる子が多かったような気がします。お茶漬けが食べたいとか聞いて、なるほどと思いました。

時田：優しい味に飢えますよね。

福井くんが「アモンパン市場」で買った果物
ドラゴンフルーツ、スイカ、マンゴスチン、ランブータン、ロンガンで全部買うことができた。その中で美味しかったものは、ドラゴンフルーツとマンゴスチン。



ドラゴンフルーツ



マンゴスチン

・象乗り体験のときの屋台で蚕を揚げたものが売っていた。何人か挑戦した学生がいる。味はエビみたいな味でサクツとして美味しかった。

- ・そのほかにも、マンゴーやバナナも美味しかった。
- ・学食に売っていたバナナスムージーやオレオスムージーも美味しかった。
- ・学生に大人気だった「ロティ」は甘いものとしょっぱいものがある。昼時は現地の学生も買いに来るので、混んでいない朝がおすすめ。調理実習でお昼ごはんを食べた後にも買いに行つた。



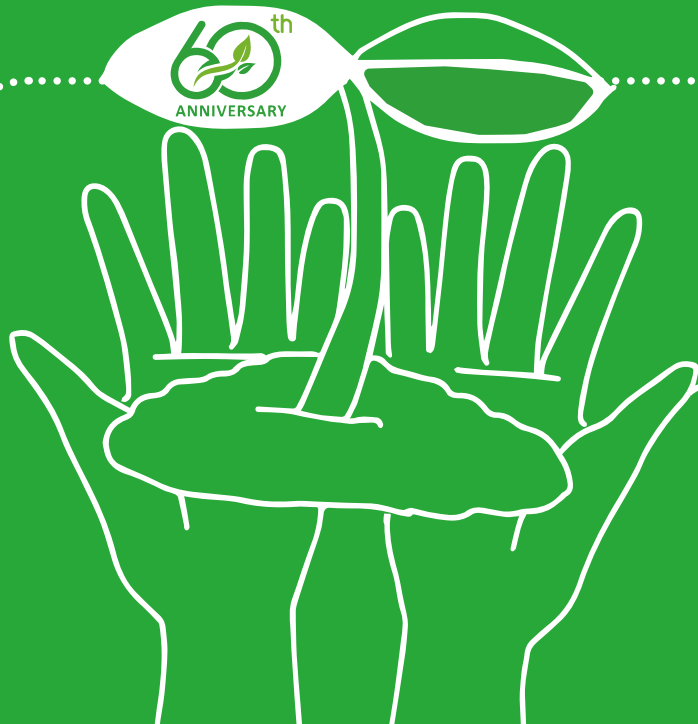
チョコレートロティ



チキンマタパロティ

念植樹を行いました





60周年記

6月17日（月）に苫小牧工業高等専門学校開校
60周年記念および高専制度創設60周年記念の
植樹式を行いました。

苫小牧工業高等専門学校は第三期校として昭
和39年に設置され、本年をもって60周年を迎える

こととなりました。また高等専門学校は、昭和37年に第一期校が開校されて以来、令和2年に60周年を迎えて
おります。

これを記念して、苫小牧工業高等専門学校開校60周年記念植樹および高専制度創設60周年記念植樹「高
専の森」プロジェクトとして紅ヤマボウシの植樹を行いました。

ヤマボウシは、ミズキ科の落葉樹です。江戸時代には欧米へ渡り観賞樹木として栽培されています。ヤマ
ボウシは特徴的な白い花をつけるものが一般的ですが、今回は紅白の花をつける紅ヤマボウシの植樹を行っ
ました。

花言葉は「友情」で学生たちが在学中はもとより、卒業してからも友情を育み、社会で活躍してほしいとの願い
が込められています。また欧米でも栽培されていることから、卒業生がグローバルに活躍してほしいとの想いも
込められています。

「高専の森」プロジェクトは、高専制度創設60周年の節目に、全国の高等専門学校が次の未来に向けて大き
く成長することを願い記念樹を植樹するもので、持続可能な開発目標（SDGs）の実現と、次の世代の高専生の
成長を「高専の森」が見守るというメッセージが込められています。

式典には、谷口高専機構理事長、苫小牧市長の代理として鳥羽工業・雇用振興課長、とまチョップ副市鳥、
関根協力会長、材木谷後援会長、前川同窓会長らにお越しいただき、晴天のなか行われました。

小林校長の挨拶に続き、鳥羽課長から御祝辞を賜りました。その後、ご来賓の皆様と谷口理事長、本校関係
者による土入れを行い、無事植樹が完了しました。

植樹後、谷口理事長から、これまでの支援に対する謝辞が述べられ、辻学生会長からは諸先輩方に負けないよ
う立派な技術者を目指すとの決意が語られました。

総務課課長補佐 森 博和

高専協力会だより

1 事業

① 専攻科研究・研究シーズ発表会の開催

苫小牧高専地域連携シンポジウム2023

日 時：2023年12月5日(火) 17:00～20:00

場 所：グランドホテルニュー王子3階「グランドホール」

講 演：「半導体ビジネスの一翼を担うミクロとマクロの連携」

株式会社KOKUSAI ELECTRIC

システム開発本部 佐々木隆史 氏

「学生フォーミュラ大会参加へ向けた機運醸成に関する活動」

苫小牧高専 創造工学科 機械系

特命助教 金子友海 氏

専攻科研究発表：専攻科1年生33名 ポスターセッション形式



② I・Uターンマッチングシステムへの参画

システム再構築のため一時休止していたが2023年度より再開《登録企業数：52社》

③ 会員企業合同研究会の開催

第12回苫小牧工業高等専門学校協力会会員企業合同研究会

日 時：2023年11月28日(火) 13:00～16:10

場 所：苫小牧工業高等専門学校第一体育館

出展企業：93社



④ 地域共同研究センター並びにキャリア教育センターとの連携

随時実施しております。

⑤ 苫小牧高専公開講座への協力

「苫小牧高専令和5年度公開講座」への後援

日 時：2023年7月31日(月)～2023年8月2日(水)

⑥ 学生との交流・共同事業

◎「令和5年度授業科目共同教育」への協力

◎ 苫小牧高専「創造工学I・II」における座談会「ジョブトーク」への協力

日 時：2023年11月2日(木)

●「令和5年度共同教育プロジェクト成果発表会」の共催

日 時：2023年9月11日(月)



苫小牧高専協力会の活動について

2023年4月1日～2024年3月31日

⑦ その他の関連事業への協力

◎苫小牧高専サテライト「C-base」との連携・協力

⑧ 図書寄贈の実施

苫小牧工業高等専門学校学術情報センターへ研究図書を寄贈

⑨ 特別助成の実施

◎若手研究者に対する研究助成

◎成果発表会の実施

日 時：2024年3月22日(金) 15:00～16:05

場 所：苫小牧経済センター6階「大ホール」

講 演：「AIによる画像診断を用いたライン上での仕分けの効率化」

苫小牧高専 創造工学科 総合自然科学系

助教 上場 一慶 氏

「決定木学習を活用した工場の不良品検出自動化」

苫小牧高専 創造工学科 電気電子系

助教 大澤 拓門 氏

「泥炭由来有機酸による再生コンクリート骨材に含まれる六価クロムの還元に関する研究」

苫小牧高専 創造工学科 都市・環境系

准教授 加藤 晃 氏

⑩ 苫小牧市スマートシティ官民連携協議会への参画

デジタル技術等を活用した地域課題研究助成

⑪ 全国高等専門学校ロボットコンテスト2023

北海道地区大会への協力

ロボットコンテスト2023北海道地区大会開催に伴う助成

日 程：2023年10月1日(日)

2 各種助成

① 研究費助成

苫小牧高専地域共同研究センターへ研究費として助成

② 専攻科1学年授業科目「共同教育」への助成

苫小牧高専「共同教育」授業科目への負担として助成

3 積 立

苫小牧高専新規事業への特別助成の実施に向けた積立

4 諸 会 議

① 総会

日 時：2023年6月28日(水) 16:30～17:30

場 所：グランドホテルニュー王子2階「芙蓉の間」

② 幹事会・役員会

第1回(幹事会)

日 時：2023年5月24日(水) 16:00～17:00

場 所：苫小牧経済センター6階「大ホール」

第2回(幹事会)※書面開催

開 催：2023年11月

5 広 報

① 高専通信による広報

② 協力会事業PR・会員加入推奨並びにHPによる広報

6 その他運営に係わる事業

① 入学式及び卒業式への参加

・入学式：2023年4月5日(水) 関根会長が出席いたしました。

・卒業式：2024年3月15日(金) 福森副会長が出席いたしました。

組込みシステム研究室

情報科学・工学系 准教授 山本 椋太

研究室紹介

昨今の半導体業界の盛り上がりは、様々な場面で耳にするかと思います。この、「半導体業界の盛り上がり」は「コンピュータとその周辺部品へのニーズが高い」ということです。スマートフォン、パソコンだけではなく、家電、乗り物、医療機器、工場、ロボット、ロケットに至るまで、コンピュータが制御している機器は、世の中に溢れています。このように、機器に「組み込まれて」使用されるコンピュータシステムを、「組込みシステム」と呼びます。

「組込みシステム」では、機械学習・AIと連携することも増えていきますし、以前に比べて多くの機能が必要です。例えば、最新のテレビはネットワークに接続でき、動画サイトを視聴できます。このように、高機能な製品の開発が増えており、開発難度も上がってきています。

組込みシステム研究室では、「より高品質な組込みシステムを、簡単に開発するためにはどうするか?」を主題にして、学生・教員で議論をして研究を進めています。「机上の空論」にならないよう、実際に社会実装・現場実装を行い、企業の方や困っている当事者とも話します。例えば、工場内を走るモノレールの開発や、バス車内の園児の置き去りの検出システム、農業支援システムの開発などを行っています。アプローチとして、コンピュータの頭脳であるCPU以外の半導体を使った処理の高速化を行っており、また、より優れた開発方法を検討するため、技術文書の解析や、プログラムの解析も行うなど、幅広く研究をしています。

情報技術で世の中を支える・便利にするために重要な技術の1つです。ぜひ、一緒に考えていきましょう。



人事異動

○令和6年5月31日付

非常勤教職員

【雇用期間の満了】

学生課寮務係事務補佐員 寺口 麻美

○令和6年6月1日付

常勤教職員

【採用】

学生課学生係 三浦 唯

非常勤教職員

【採用】

総務課総務係事務補佐員 福原奈津子

学生課学生係事務補佐員 萩尾ひとみ

技術補佐員（高橋教授研究室） 柏 正剛

【配置換】

学生課寮務係事務補佐員 山口 麻美
（学生課学生係事務補佐員）

○令和6年6月5日付

非常勤教職員

【採用】

技術補佐員（村本教授研究室） 尾田 龍司

○令和6年7月1日付

常勤教職員

【配置換】

総務課総務係長 兼宗 昌弘
（学生課教務係長）

総務課人事係長 大西 朋子
（総務課総務係長）

総務課専門職員（総務担当） 吉田 智昭
（学生課専門職員（キャリア支援担当））

○令和6年7月1日付

常勤教職員

【配置換】

総務課財務係主任 齋藤 里奈
（総務課調達係主任）

総務課調達係主任 関谷 俊一
（学生課教務係主任）

学生課教務係長 村田 雅彦
（総務課人事係長）

学生課教務係主任 石橋 舞子
（総務課財務係主任）

学生課学生係主任 小田 涼太
（函館工業高等専門学校学生課教務係主任）

非常勤教職員

【採用】

技術補佐員（甲野教授研究室） 宇山 諒

技術補佐員（菊田教授研究室） 今 優花

技術補佐員（菊田教授研究室） 高橋 涼太

○令和6年7月8日付

非常勤教職員

【採用】

技術補佐員（松尾准教授研究室） 岩原 佳吾

技術補佐員（松尾准教授研究室） 太田 浩輔

○令和6年7月9日付

非常勤教職員

【育児休業】（令和6年7月9日～令和7年3月31日まで）

非常勤看護師 田中 理早

○令和6年7月31日付

教育職員

【雇用期間の満了】

創造工学科特任教授（情報科学・工学系担当） 阿部 司

非常勤教職員

【雇用期間の満了】

技術補佐員（松尾准教授研究室） 岩原 佳吾

技術補佐員（松尾准教授研究室） 太田 浩輔

○令和6年8月31日付

常勤教職員

【辞職】

総務課長 山口 文章

非常勤教職員

【辞職】

総務課総務係事務補佐員 福原奈津子

○令和6年9月1日付

【併任】

総務課長 高見 守亮
（事務部長）

○令和6年9月30日付

非常勤教職員

【雇用期間の満了】

学生課寮務係事務補佐員（寮母） 伊藤 杏里

【辞職】

技術補佐員（村本教授研究室） 尾田 龍司

○令和6年10月1日付

非常勤教職員

【採用】

学生課寮務係事務補佐員（寮母） 更科 真由子

高専通信

vol.166 contents

第1学年オリエンテーション	1
授業参観	1
第2学年オリエンテーション	2
寮祭	3
春季体育大会	3
高専体育大会（北海道地区）	4
高専体育大会（全国）	5
TOPICS	6
オープンキャンパス	7 8
海外研修座談会（タイ カセサート大学）	9 10
60周年記念植樹	11 12
高専協力会だより	13
研究室紹介	14
人事異動	14

編集後記

今回の高専通信166号では、第1学年および第2学年のオリエンテーションや高専体育大会、オープンキャンパスなど今年度前半に行われたさまざまな活動についてお知らせしています。

国際交流においては、タイ高専の学生受け入れやマレーシアADTEC教員の研修が行われたほか、本校学生の海外派遣研修としてタイのカセサート大学やニュージーランドのEIT等への派遣も実施され、計37名の学生が海外に赴きました。現地での生活や英語でのコミュニケーションなど研修を通して得た貴重な経験を今後の学生生活や将来に活かして欲しいと思います。

また、今年は本校創立60周年の年です。これを記念した植樹式も行われ、未来に向けて新たな一歩を踏み出す機会となりました。今後もグローバルに活躍できる人材の育成によりいっそう力を入れてまいりますので、引き続き本校の活動にご注目いただけますと幸いです。

総務主事補 上場一慶

